

## 平成26年度定期社員総会が無事終了

6月12日、東京都港区にて、平成26年度定期社員総会が開催されました。内容は以下の3部構成で、それぞれが非常に充実したものとなりました。

### 第1部 定期社員総会



#### ■ 社員の過半数の出席により総会成立

出席者34名／委任状8通＝合計42名  
42名は、議決権のある当法人の社員の総数43名の過半数にあたり、定足数を満たしていることから、本総会は成立した。

#### ■ 会費改定などすべての議案が承認可決

平成25年度事業報告の件、会費改定の件、理事・監事選任の件、平成26年度事業計画の件、すべての議案が承認可決された。

### 第2部 会員交流会



#### ■ 活発な意見交換

会員の減少や議決方法など、会員の方からさまざまな質問があり、執行部がそれに回答する形で活発な意見交換がなされた。

### 第3部 懇親会



日本ELVリサイクル機構 ニュースレター  
(ELV Newsletter)

#### 編集・発行責任者

日本ELVリサイクル機構  
広報部会 部会長 永田 則男

#### お問い合わせ先

日本ELVリサイクル機構 事務局  
〒105-0004  
東京都港区新橋3-2-2 一美ビル5F  
◆MAIL jaera-homepage@elv.or.jp  
◆TEL 03-3519-5181  
◆FAX 03-3597-5171  
◆HP <http://www.elv.or.jp/>

## 目次

巻頭言	..... 1
トピックス	
定期社員総会	..... 1～2
ELV機構活動ニュース	..... 3
会員活動ニュース	..... 4
鉄スクラップ最新情報	..... 5
行事予定・お知らせ	..... 6
編集後記	..... 6

## 巻頭言

3名の方から一冊ずつ本を紹介していただきました。どれも自身では手に取ることがない本であったと思います。そして、読む気になったのは何故かと考えると「尊敬できる方」「信用できる方」「大好きな方」からの紹介だったからです。実際に読んでみると、分野は其々異なりますが今の自分に必要な要素が沢山詰まった書物でした。紹介して下さった方々が、私の欲していることを理解して下さっていることを読みながら感じました。「本を紹介する」という行為一つとっても、人間関係が重要であること、相手に対し愛情をもって接することの大切さを知りました。リーダーとなる人は、何事も率先垂範なのですね。

(広報部会 木村 香奈子)

## 会員の皆様からのご意見

定期社員総会や会員交流会でいただいた皆様からのご意見をご紹介します。  
(※ 紙面の都合上、一部抜粋とさせていただきます。)

### ご意見1

- 会費改定に反対である。
- たとえば、会社を1人でやっているところと20~30人でやっているところでは違いがあると思うが、そのバランスはとれないのか。
- 会費改定で会員が減少したらどうするのか。また会費を上げるのか。ただ「会費を上げます」ではいつまで経っても問題はなくなるのではないのか。

### 回答1

- 会費に差をつけるということは、常任役員会でも何度も議論が重ねられた部分である。さまざまな案が出たが、今の段階では、まず会員の皆さんに平等な形でご負担をお願いするという結論に至った。このため、一律の会費改定という形を提案させていただいた。
- 現状をふまえると、会費改定を先延ばしにするのは、非常に厳しく、財政的にもたない。このため、下期(平成26年10月1日~)からの会費改定をご承認いただきたい。
- 会員の方々がどんどん減る状況になれば、また会費が足りなくなるという悪循環に入ってしまう。「ELV機構に入っていればメリットがある」としてもらえる活動をしていかなければならない。  
→ ひとつは、3年度にわたって実施した回収高度化事業。これをELV機構独自の活動として継続してブロック・地域単位で進めていき、「ELV機構の一員でよかった」と感じていただける活動になるようにしていきたい。  
→ もうひとつは、自動車リサイクル士制度認定講習会。運営も大変だが、我々が自らを律しているということを行行政も含めて関係団体の方々に高く評価してもらっている。この流れを盛り上げていくことで会員のメリットを出していきたい。

### ご意見2

- 自動車リサイクル士制度認定講習会の予算はどのように考えているか。
- 自動車リサイクル士事業の予算について、昨年度は452万円ほど旅費交通費がかかっているが、今期は250万円の予算となっている。今期から講習会は2日間になったため、昨年度より費用がかかるのではないかと思うのだが、この予算削減について教えていただきたい。

### 回答2

- 平成25年度は初めての試みだったため、担当役員や理事が全国を回り、講習会の前にリハーサル研修会も行った。つまり、リハーサルと講習会本番で全国を2周回ったことになる。  
→ 今期はそのようなことをふまえて、講師養成講習会を受けたインストラクターの方々を中心に各地域が主体となって運営できるような体制を構築していってもらっている。これである程度の交通費が削減できる予定である。  
→ 地域によってインストラクターだけでは不十分であるという場合には、役員らが出向く体制も整えているが、今期はできるだけ緊縮予算で組ませていただいた。

### ご意見3

- 原則として、議決権は1団体につき1票となっているが、会費改定などの重要な案件に関しては、1社1票という形にしてほしい。

### 回答3

- ELV機構は、社員総会によってすべてが決まる組織である。このため、社員総会の議決の前に、まず団体で議決をしていただく必要がある。
- 個社の意見の反映は団体内で行い、団体の中での個社の意見を1つにまとめたうえで、社員として社員総会で議決権を行使していただく。この形がELV機構のシステムであり、1社1社の議決権をELV機構の議決権として認めるという形ではないので、ご理解いただきたい。

## 自動車リサイクル士制度／講師養成講習会を東京で実施

6月13日に新橋の5東洋海事ビルで自動車リサイクル士制度の講師養成講習会が行われました。安全作業指導員・インストラクター・インストラクター候補35名・講師7名・自再協・関係者16名、合計参加人数58名で始まりました。

最初の講師、日本ペップトーク普及協会の会長岩崎由純さん。間違いなく参加者皆が一番印象に残った講師だと思います。岩崎さんの講習では、講習での話し方・伝え方・モチベーションのもって行き方など、今までにない講習内容を熱くわかりやすく教えていただけました。その後、前回関東ブロックで行われた講習会と同様の流れで、それぞれの講師の方々が講習を行いました。



[写真1: 日本ペップトーク普及協会 岩崎 由純 会長]



[写真2: 講師養成講習会の受講者の方々]

今年度から、今まで1日だった講習会が2日に変更され、合計で4時間20分講習時間が伸びています。当然インストラクター1人の講習時間も増えています。今まで1日で行われていた講習会だと、十分な説明が出来にくい部分もあり、駆け足で講習をしなければなりません。2日に延びたことで時間に余裕を持った講習が出来ると思います。

この講習会を継続することで、我々の業界で今後大きな役割を持ち、社会から認められると思います。今年度の講習会も皆様方の御協力宜しくお願いします。

(理事・インストラクター 佐々木 健二)

## トラック・バス部会、見学会を実施 新体制で初の常任役員会を開催



6月6日、ELV機構のトラック・バス部会は、日本トラックリファインパーツ協会（JTP）と共同で「トラック架装物解体作業見学会並びに意見交換会」を開催しました。

当日は、ELV機構とJTPの他、環境省、日本自動車車体工業会、日本自動車工業会の方々も参加され、シーパーツの山口工場にて、2t冷凍バン2台を並べて機械（ニブラ）と手作業による同時解体を実施しました。

手作業による解体は、シーパーツが提案するリユース解体であり、バン側面のパネルは断熱材ごと切り取って工場や家屋の断熱パネルとして、残ったボディーは、くり抜いた部分にサッシ窓を取り付けるなどしてウッドデッキならぬアルミデッキとして活用されていました。



6月26日、新体制初の常任役員会が開催されました。

当日は、河村代表理事、吉川副代表理事、酒井副代表理事、そして新たに常任役員となった木内総務部会長、平地ブロック長会議長、清水理事、佐々木理事が出席しました。内容としては、回収高度化事業を発展させた各地域での共同事業や自動車リサイクル法見直しの議論に向けた対応などについて、検討を行いました。

新体制となって初の常任役員会でしたが、活発な議論が交わされ、非常に充実したものとなりました。

## 新ブロック長会議長より皆様へ



一般社団法人 日本ELVリサイクル機構

**ブロック長会議長**

**平地 健** (2014年6月12日就任)

- ・東北ブロック長
- ・宮城県支部長

**「地域活動の活性化——顔のみえる活動を。」**

会員の皆様、このたびブロック長会議長に就任いたしました平地 健と申します。

今年度よりブロック間の交流を積極的に図り、各地域の会員の皆様にまで、きちんと伝わる活動・お互いの顔がみえるコミュニケーションを心掛けていきたいと思っております。

具体的には、以下の2つのことを行います。

- **ブロック長会議を年4回行う。**
- **ブロック会議を年3回以上行う。**  
(そのうち1回はブロック全体会を開催)

ブロック長や団体長との連携強化、さらに各地域の会員の皆様との顔を向き合わせたコミュニケーションの機会増加を目指します。

会員の皆様、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 福島県組合、ボランティアでゴミ拾い



6月14日、福島県郡山市湖南町において、猪苗代湖岸のゴミを回収する「猪苗代湖クリーンアクション2014」が行われました。福島県自動車リサイクル協同組合も猪苗代湖をきれいに保つための県主催による「湖美来クラブ」に加盟していることから、組合員12名の参加者を集い、ゴミ拾い活動に協力してきました。

朝のうち雨の天候にもかかわらず、県内各地から530人のボランティアが参加し、湖畔に流れ着いたヨシくずやゴミを回収し水質汚染防止に協力しました。作業後は参加者一人一人に清掃参加証が配られ、また、地元婦人会の皆さんが作った豚汁も振る舞われ、楽しいうちに解散となりました。

(福島県自動車リサイクル協同組合 田村 幸男)

## 鹿児島県組合、優良組合として表彰



5月28日、鹿児島県中小企業団体中央会通常総会が鹿児島市内のホテルで開催され、鹿児島県ELV協同組合(代表理事 伊地知 志郎)が9団体の優良組合として表彰されました。

表彰については、組合員一致協力して事業の発展に尽力されたことで、鹿児島県ELV協同組合としては初めての表彰でした。組合活動を開始して10年になりますが、これからは自動車リサイクル講習会に積極的に参加し、見本となる組合を目指します。

(鹿児島県ELV協同組合 伊地知 志郎)

## 沖縄県組合、水難救助訓練に協力



6月4日～6日までの3日間、沖縄県うるま市にて、沖縄県中部消防長会による中部6消防本部合同の水難救助訓練が実施されました。

6日は、自動車の転落を想定した搜索訓練が行われ、要請を受けた沖縄県自動車リサイクル協同組合は、車両提供などを行いました。

同組合の松田理事長によると、車両準備においては、海上保安庁のチェックもあり、1か月以上もの時間がかかるそうです。当日の訓練には、同組合も参加し、水没した車両の引き上げなどを行いました。

## ■ 6月第4週(24日)の鉄スクラップ動向 ■

[ 提供 / 日刊市況通信社 ]

### 電炉筋、購入価格を追加値上げ 東京製鉄4工場とも特級33,500円に

東京製鉄は24日、九州工場を除く4拠点の鉄スクラップ購入価格を1トンあたり500円値上げした。19日に続く値上げ改定。同社4工場の特級購入価格を33,500円(高松鉄鋼センター32,500円)に上げ揃えた。同社の動きに対応し、東日本や関西などの電炉筋の多くが購入価格の値上げを実施した。

国内では条鋼類を生産する電炉筋を中心に減産が広がり、7月以降は夏季減産期に入ることから、現在は鉄スクラップ需要が縮小する時期にある。しかし、韓国向けの鉄スクラップ輸出価格が続伸し、H2が34,000円(FOB)台に乗せたため、各地区とも浜値が先行して上伸する動きとなり、市場での先高観が拡大。電炉の鉄スクラップ入荷にもバラつきが出たため、電炉各社は値上げに踏み切る判断に至ったもようだ。

今後、様子見姿勢の筋にも値上げ改定が広がるとみられることから、国内相場は当面、強含みの推移を続ける見通した。ただ、7月、8月と鉄スクラップの内需は減少するため、国内では先行き慎重な見方も多い。



### 【関東地区】東鉄宇都宮など関東電炉6社が追加値上げ

6月24日の国内スクラップ炉前実勢価格

		H2	気配
関東	北関東	32,000 ~ 33,500	値上がり
	南関東	32,000 ~ 33,500	値上がり
名古屋		31,000 ~ 33,000	強含み
関西	大阪	32,000 ~ 33,500	値上がり
	姫路	32,000 ~ 32,500	値上がり

関東では、東京製鉄宇都宮をはじめ電炉6社が6月24日、鉄スクラップ購入価格の追加値上げを実施した。湾岸浜値が先行して値上がりしていたことに一部電炉筋が対応した。値上げ幅は各社とも500円で、一部に品種別対応が見られる。ただ、24日時点では購入価格を据え置いた電炉筋が多い。H2炉前実勢価格は32,000~32,500円中心、高値33,000~33,500円見当。H2浜値は32,500~33,000円中心へ500円どころ上昇した。

### 【東海地区】市況にはなお小幅上昇期待感も電炉入荷にバラつき

名古屋地区の市場は、建物解体など市中老廃物はここ2カ月余り低調感が強く、業者筋のヤード入荷も芳しくないため在庫薄の状況だ。東京製鉄の値上げもあり、業者間にはなお市況の小幅上昇期待が根強いものの、一部には出荷への動きが見られる。ただ、業者筋では下げ不安が少なく、出荷を急ぐ動きがないため、電炉筋の入荷はなおバラつき気味となっている。H2炉前実勢価格は31,000~32,000円中心、高値33,000円見当。

### 【関西地区】大阪は6月24日から2社値上げで市況続伸の動き

大阪地区では、6月24日からの値上げ改定は2社のみにとどまっているものの、目先に共同輸出船積みを控え、価格対応の遅れは入荷減に直結する状況にあり、高値追いを余儀なくされそうだ。H2炉前実勢価格は32,000~33,000円、一部高値33,500円。姫路地区ではヤマトスチールとJFE条鋼が24日から鉄スクラップ購入価格を500円引き上げた。H2炉前実勢価格は32,000~32,500円。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、6月24日午前時点のもの)

# 行事予定

## ■7月の主な予定

7月1日(火)

・第1回 三役会

7月11日(金)

・近畿ブロック会議

7月12日(土)

・北海道・東北・関東3ブロック合同会議  
・自動車のリサイクルに関するセミナー

7月15日(火)

・第4回 広報部会

7月18日(金)

・中部・北陸ブロック会議

7月19日(土)

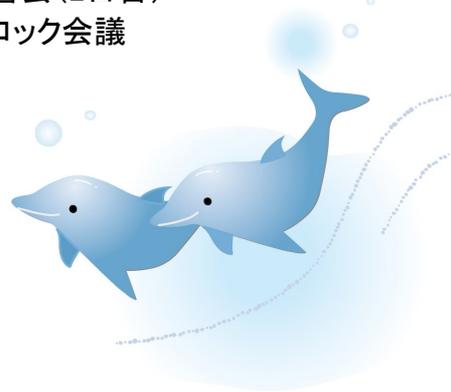
・九州ブロック会議

7月23日(水)

・東北ブロック 自動車リサイクル士制度  
認定講習会(1日目)

7月24日(木)

・東北ブロック 自動車リサイクル士制度  
認定講習会(2日目)  
・東北ブロック会議



## お知らせ

### ■会員数(2014年6月現在)

会員=657社/賛助会員=27社

### ■新規ご入会者のご紹介(2014年6月ご入会)

#### 会員

大阪府寝屋川市

「株式会社 大衆自動車商会」様

大阪府泉北郡

「株式会社 清水」様



### ■エアバッグリコール届出追加のお知らせ

6月にトヨタ/いすゞ/日産/ホンダ/マツダが、追加のリコール届出を行いました。

▼リコール対象車両などの詳細はこちらから

<http://www.elv.or.jp/?itemid=618>

### ■使用済自動車の適正処理を徹底しましょう

平成26年も昨年同様、自動車リサイクル法に関する全国一斉立入検査が行われるとの情報がありました。また、自動車再資源化協力機構の監査もあります。ELV機構会員の皆様は、常に適正に使用済自動車の処理を行っているかと思いますが、監査があるからというわけではなく、あらためて日頃からの適正処理の徹底を心がけていきましょう。

## 編集後記

本年の定期社員総会も大きな波乱もなく無事に終わることが出来ました。特に今年は機構の財政に関わる重要議案もあり、役員一同いささか緊張した面持ちでした。議案は承認されたものの、問題はここからどのように組織を活性化させ、会員の期待に応じて行くのがこれからの大きな課題となることでしょう。▲それにしても自動車解体業者が日本全国から一堂に会するという事は、改めて凄いことだと思います。総会後の懇親会では、なんの屈託もなく皆さん大いに語り合い、懇親を深めていました。また世代交代も進み、若い社員代表も増えてきました。組織の団結と新しい世代の台頭は、この業界の将来へ向けた勢いそのものです。▲さて、広報部会も今期は新たな取り組みを企画しております。各ブロック会議へ出向き、ブロックの活動状況をお伝えしようというものです。また会員間の親睦はかることを目的とした交流会です。いずれも各地域の会員との情報交流をすることで、会員の皆様に厳しい時代を乗り越える勢いをつけて頂きたいという思いに他なりません。

(広報部会 部会長 永田 則男)